

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	南知多地区地域水産業再生委員会
代表者名	山下三千男

再生委員会の 構成員	愛知県南知多町管内6漁協（豊浜、大井、片名、師崎、篠島、日間賀島漁協）、南知多町、愛知県知多農林水産事務所（水産課）
オブザーバー	愛知県（農林水産部水産課）、愛知県漁連

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	愛知県南知多町南知多地区（正組合員総数1,486名）								
	単位：人								
		漁業の種類							
	漁協名	船びき網漁業	小型底びき網漁業	一本釣り漁業	潜水漁業	刺網漁業	その他漁業	合計	うちのり養殖業
	豊浜	49	153			36	48	286	(45)
	大井	26	20	7	7	32	23	115	(31)
	片名		5	7		6	16	34	(3)
	師崎	81	7	84	22	8	14	216	(13)
	篠島	251	17	36	32	27	26	389	(80)
	日間賀島	126	69	22	98	37	94	446	(39)
合計	533	271	156	159	146	221	1,486	(211)	
	<p>※1 その他漁業は、はえ縄、あなごかご漁、たこつぼ漁、小型定置網、わかめ養殖等である。</p> <p>※2 のり養殖業は冬季のみの操業のため、のり養殖業を専業とする漁業者はいない。</p> <p>伊勢湾、三河湾及び渥美外海における沿岸漁業 (船びき網、小型底びき網、一本釣り、潜水漁業、刺網、のり養殖他)</p>								

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

南知多地区の水産業は、船びき網や、底びき網、釣り、潜水漁業、刺網、のり養殖など多くの漁業が営まれ、様々な漁獲物が水揚げされる沿岸漁業地域である。

漁獲量は毎年3万トン前後と概ね横ばいに推移しているが、近年の食文化の多様化や、家庭における魚の消費量の低下、安価な輸入食材の普及により魚価が低迷しており、特にリーマンショック以降、価値の高い鮮魚を多く漁獲する南知多地区の沿岸漁業は、魚価の低迷が著しい。さらに、原油の高騰等により燃油等支出の割合が年々増えているため、漁業者の所得は不安定な状況が続いている。

このため、南知多地区においては、漁業への新規就業者は少なく、就業者の高齢化が進み、正組合員数も過去5か年において131名（8%）減少している。

(2) その他の関連する現状等

南知多地区の漁業協同組合は内海、豊浜、豊丘、大井、片名、師崎、篠島、日間賀島の8組合があったが、組合員数の減少や漁業協同組合の経営基盤改善のため、平成19年に大井、豊丘漁協が合併し、また、平成22年には内海、豊浜漁協が合併したことにより、現在は豊浜、大井、片名、師崎、篠島、日間賀島の6組合となっている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

本再生委員会の存する南知多町は漁業と観光業を基幹産業としている。今後は、漁業と観光業の連携により、地産地消による魚食の普及やブランド化を推進することで魚価を上げる一方、船底清掃等や省エネ機器の導入による燃費効率のアップにより経費を削減することで漁業者の所得向上を目指す。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

太平洋広域漁業調整委員会指示第15号（イカナゴ伊勢・三河湾系群の資源管理に係る指示）

愛知海区漁業調整委員会告示第1号（はえ縄漁業に関する指示）

愛知海区漁業調整委員会告示第6号（あなごかご漁業に関する告示）

愛知県漁業調整規則第38条（漁具の制限 機船船びき網、小型機船底びき網等）

愛知県漁業調整規則第44条（漁船の総トン数及び馬力数の制限 機船船びき網、小型機船底びき網等）

○資源管理計画

愛知県ぱっち網漁業者組合イカナゴ（操業期間制限）

愛知県ぱっち網漁業者組合イワシ類（定期休漁日の設定）

愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ（操業期間制限）
愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イワシ類（定期休漁日の設定）
豊浜漁協小型機船底びき網（渥美外海板びき網）漁業（定期休漁日の設定）
日間賀島漁協小型機船底びき網（渥美外海板びき網）漁業（定期休漁日の設定）
伊勢湾海域における小型機船底びき網（まめ板網）漁業（定期休漁日の設定）
片名漁協あなご籠漁業（かごの総数制限、網目拡大）
師崎漁協あなご籠漁業（かごの総数制限、網目拡大）
知多地区のり漁場改善計画（行使柵数制限）

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成26年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【魚価向上の取組】</p> <p>① 名古屋から日帰り圏で知多半島の観光拠点である立地を活かし、豊浜石之浦地区において現在構想中の直販施設の検討を進めるとともに、南知多地区に4店舗ある直販施設への積極的な販路拡大を行う。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）他</p> <p>※既設の4店舗（豊浜2、師崎1、大井1）は、主に仲買人と水産加工業者が出店し、荷捌施設内や野天による販売を行っている。常設ではなく、地魚の取扱が少ない。また、衛生面にも課題がある。現在構想中の直販施設は、直接漁業者が出店できる形の直販施設とすることで、販売単価の向上（漁業者の手取り向上）を目指す。さらに、直販施設とあわせて、調理・飲食スペースを併設することにより、売れ残りの販売ロスや集客力向上を図る。</p> <p>② 地元観光業者と連携し、地魚の積極的な使用を促す。具体的には、現在、必要数量が見込めないこと等により地魚の使用が敬遠されがちな大型宿泊施設に対して、ストック施設（一般客が活魚を見て選べるいけす等）の整備等により地場流通システムを構築し、地産地消を促す。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）、はえ縄漁（トラフグ）、潜水漁業（ウチムラサキ、平貝など）他</p> <p>③ 現在、「くろのり」だけを生産しているが、高価格で取引されるアオノリの混入した「混ぜのり」の生産を行う。（南知多では混ぜのりの生産を行ったことはないが、県内他地区では青混ぜのりは贈答用等として高値で取引されていることから、南知</p>
---------------------	--

	<p>多でも新しく取り組むこととする。)・・・のり養殖業</p> <p>④ 6次産業化推進事業などから生まれる商品や地元食材を使った産物に対して認証する地域ブランド(南知多産ブランド認証「ミーナの恵み」)を取得し、産業振興協議会(町内産業連携組織)の協力を得て販売を促進する。・・・船びき網漁業(カタクチイワシの魚醬、カタクチイワシのオリーブオイル漬け他)</p> <p>⑤ 生産地識別タグの取付を普及させ、④とあわせて「南知多産」の知名度アップを図る。・・・一本釣り漁業(タイ、アジなど)、はえ縄漁(トラフグ)、その他漁業(ガザミ、タコなど)他 ※大きさ1kg以上のタイ、フグ等に匹単位で、タコ、アサリは袋単位でタグ付けを行い、これらの取組みを普及させることにより、魚価向上を目指す。</p> <p>⑥ 愛知県しらす・いかなご船びき網連合会が取得している「マリン・エコラベル」の周知、普及拡大を図り、同漁業が水産資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいることをアピールし、イメージアップを図る。・・・船びき網漁業(しらす、いかなご)</p> <p>以上①から⑥の取組により平均魚価の2%向上を目指す。</p> <p>【漁獲量を増やす取組】</p> <p>愛知県及び南知多町と協力して、トラフグ、クルマエビ、ヒラメ等の栽培漁業を推進する。具体的には、種苗の放流匹数の増加、愛知県等が行う増殖場整備による増産、放流後の定着率を向上させるための放流最適地の調査、放流後の資源管理の強化等を新たに講じることにより、対象魚種漁獲量の2%向上を目指す。・・・はえ縄、小型底びき網、刺網他</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>全漁業者が省燃油活動推進事業を利用し、船底清掃等を定期的に行うことにより燃費効率を高め、燃油コストの7%削減を目指す。</p> <p>船びき網漁業者7名およびのり養殖業者7名、ワカメ養殖業者1名が省エネ機器等導入事業を利用して、漁船の機関換装やのり乾燥機等に省エネ機器の導入を推進する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>省燃油活動推進事業、省エネ機器等導入推進事業、6次産業化推進整備事業、南知多町産業連携推進事業、漁業近代化資金、沿岸漁業改善資金、愛知県栽培漁業関係事業、南知多町沿岸水産資源増殖推進事業</p>

2年目（平成27年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【魚価向上の取組】</p> <p>① 名古屋から日帰り圏で知多半島の観光拠点である立地を活かし、豊浜石之浦地区において現在構想中の直販施設の検討を進めるとともに、南知多地区に4店舗ある産直・直販施設への積極的な販路拡大を行う。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）他</p> <p>※既設の4店舗（豊浜2、師崎1、大井1）は、主に仲買人と水産加工業者が出店し、荷捌施設内や野天による販売を行っている。常設ではなく、地魚の取扱が少ない。また、衛生面にも課題がある。現在構想中の直販施設は、直接漁業者が出店できる形の直販施設とすることで、販売単価の向上（漁業者の手取り向上）を目指す。さらに、直販施設とあわせて、調理・飲食スペースを併設することにより、売れ残りの販売ロスや集客力向上を図る。</p> <p>② 地元観光業者と連携し、地魚の積極的な使用を促す。具体的には、現在、必要数量が見込めないこと等により地魚の使用が敬遠されがちな大型宿泊施設に対して、ストック施設の整備等により地場流通システムを構築し、地産地消を促す。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）、はえ縄漁（トラフグ）、潜水漁業（ウチムラサキ、平貝など）他</p> <p>③ 現在、「くろのり」だけを生産しているが、高価格で取引されるアオノリの混入した「混ぜのり」の生産を行う。（南知多では混ぜのりの生産を行ったことはないが、県内他地区では青混ぜのりは贈答用等として高値で取引されていることから、南知多でも新しく取り組むこととする。）・・・のり養殖業</p> <p>④ 6次産業化推進事業などから生まれる商品や地元食材を使った産物に対して認証する地域ブランド（南知多産ブランド認証「ミーナの恵み」）を取得し、産業振興協議会（町内産業連携組織）の協力を得て販売を促進する。・・・船びき網漁業（カタクチイワシの魚醤、カタクチイワシのオリーブオイル漬け他）</p> <p>⑤ 生産地識別タグの取付を普及させ、④とあわせて「南知多産」の知名度アップを図る。・・・一本釣り漁業（タイ、アジなど）、はえ縄漁（トラフグ）、その他漁業（ガザミ、タコなど）他</p> <p>⑥ 愛知県しらす・いかなご船びき網連合会が取得している「マリ</p>
---------------------	---

	<p>ン・エコラベル」の周知、普及拡大を図り、同漁業が水産資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいることをアピールし、イメージアップを図る。・・・船びき網漁業（しらす、いかなご）</p> <p>以上①から⑥の取組により平均魚価の2%向上を目指す。</p> <p>【漁獲量を増やす取組】</p> <p>愛知県及び南知多町と協力して、トラフグ、クルマエビ、ヒラメ等の栽培漁業を推進する。具体的には、種苗の放流匹数の増加、愛知県等が行う増殖場整備による増産、放流後の定着率を向上させるための放流最適地の調査、放流後の資源管理の強化等を新たに講じることにより、対象魚種漁獲量の2%向上を目指す。・・・はえ縄、小型底びき網、刺網他</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>引き続き船底清掃等により、燃油コストの7%削減を目指す。</p> <p>小型底びき網漁船等の機関換装に漁業近代化資金や沿岸漁業改善資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p>
活用する支援措置等	<p>6次産業化推進整備事業、南知多町産業連携推進事業、漁業近代化資金、沿岸漁業改善資金、愛知県栽培漁業関係事業、南知多町沿岸水産資源増殖推進事業</p>

3年目（平成28年度）

漁業収入向上のための取組	<p>【魚価向上の取組】</p> <p>① 名古屋から日帰り圏で知多半島の観光拠点である立地を活かし、豊浜石之浦地区において現在構想中の直販施設の検討を進めるとともに、南知多地区に4店舗ある産直・直販施設への積極的な販路拡大を行う。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）他</p> <p>※既設の4店舗（豊浜2、師崎1、大井1）は、主に仲買人と水産加工業者が出店し、荷捌施設内や野天による販売を行っている。常設ではなく、地魚の取扱が少ない。また、衛生面にも課題がある。現在構想中の直販施設は、直接漁業者が出店できる形の直販施設とすることで、販売単価の向上（漁業者の手取り向上）を目指す。さらに、直販施設とあわせて、調理・飲食スペースを併設することにより、売れ残りの販売ロスや集客力向上を図る。</p> <p>② 地元観光業者と連携し、地魚の積極的な使用を促す。具体的に</p>
--------------	---

	<p>は、現在、必要数量が見込めないこと等により地魚の使用が敬遠されがちな大型宿泊施設に対して、ストック施設の整備等により地場流通システムを構築し、地産地消を促す。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）、はえ縄漁（トラフグ）、潜水漁業（ウチムラサキ、平貝など）他</p> <p>③ 現在、「くろのり」だけを生産しているが、高価格で取引されるアオノリの混入した「混ぜのり」の生産を行う。（南知多では混ぜのりの生産を行ったことはないが、県内他地区では青混ぜのりは贈答用等として高値で取引されていることから、南知多でも新しく取り組むこととする。）・・・のり養殖業</p> <p>④ 6次産業化推進事業などから生まれる商品や地元食材を使った産物に対して認証する地域ブランド（南知多産ブランド認証「ミーナの恵み」）を取得し、産業振興協議会（町内産業連携組織）の協力を得て販売を促進する。・・・船びき網漁業（カタクチイワシの魚醬、カタクチイワシのオリーブオイル漬け他）</p> <p>⑤ 生産地識別タグの取付を普及させ、④とあわせて「南知多産」の知名度アップを図る。・・・一本釣り漁業（タイ、アジなど）、はえ縄漁（トラフグ）、その他漁業（ガザミ、タコなど）他</p> <p>⑥ 愛知県しらす・いかなご船びき網連合会が取得している「マリン・エコラベル」の周知、普及拡大を図り、同漁業が水産資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいることをアピールし、イメージアップを図る。・・・船びき網漁業（しらす、いかなご）</p> <p>以上①から⑥の取組により平均魚価の2%向上を目指す。</p> <p>【漁獲量を増やす取組】</p> <p>愛知県及び南知多町と協力して、トラフグ、クルマエビ、ヒラメ等の栽培漁業を推進する。具体的には、種苗の放流匹数の増加、愛知県等が行う増殖場整備による増産、放流後の定着率を向上させるための放流最適地の調査、放流後の資源管理の強化等を新たに講じることにより、対象魚種漁獲量の2%向上を目指す。・・・はえ縄、小型底びき網、刺網他</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>引き続き船底清掃等により、燃油コストの7%削減を目指す。</p> <p>小型底びき網漁船等の機関換装に漁業近代化資金や沿岸漁業改善資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>古くなった製氷冷蔵施設をコイン式製氷冷蔵施設に換えることに</p>

	<p>より人件費や電気料を削減する。その結果、氷の値段や販売手数料が下がりコスト削減が見込まれる。（豊浜、師崎漁協）</p> <p>※現在、豊浜、師崎漁協は、24 時間体制で製氷冷蔵施設を使用しており、漁船への船積は原則、漁協職員が行っているが、コイン式製氷施設（カード式対応可能）を導入し、セルフ式にすることで、漁業者自ら氷の船積が可能となり、漁協職員の人件費が削減できる。また、製氷施設を新設することにより電気料や修繕費の削減が図れるとともに、必要数量の設定が可能となり、遊漁者等への販売も見込まれる。</p>
活用する支援措置等	6 次産業化推進整備事業、南知多町産業連携推進事業、漁業近代化資金、沿岸漁業改善資金、産地水産業強化支援事業、愛知県栽培漁業関係事業、南知多町沿岸水産資源増殖推進事業

4 年目（平成 29 年度）

漁業収入向上のための取組	<p>【魚価向上の取組】</p> <p>① 名古屋から日帰り圏で知多半島の観光拠点である立地を活かし、豊浜石之浦地区において直販施設の整備を行うとともに、南知多地区に 4 店舗ある産直・直販施設への積極的な販路拡大を行う。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）他</p> <p>② 地元観光業者と連携し、地魚の積極的な使用を促す。具体的には、現在、必要数量が見込めないこと等により地魚の使用が敬遠されがちな大型宿泊施設に対して、ストック施設の整備等により地場流通システムを構築し、地産地消を促す。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）、はえ縄漁（トラフグ）、潜水漁業（ウチムラサキ、平貝など）他</p> <p>③ 現在、「くろのり」だけを生産しているが、高価格で取引されるアオノリの混入した「混ぜのり」の生産を行う。（南知多では混ぜのりの生産を行ったことはないが、県内他地区では青混ぜのりは贈答用等として高値で取引されていることから、南知多でも新しく取り組むこととする。）・・・のり養殖業</p> <p>④ 6 次産業化推進事業などから生まれる商品や地元食材を使った産物に対して認証する地域ブランド（南知多産ブランド認証「ミーナの恵み」）を取得し、産業振興協議会（町内産業連携組織）の協力を得て販売を促進する。・・・船びき網漁業（カ</p>
--------------	---

	<p>タクチイワシの魚醬、カタクチイワシのオリーブオイル漬(他)</p> <p>⑤ 生産地識別タグの取付を普及させ、④とあわせて「南知多産」の知名度アップを図る。・・・一本釣り漁業(タイ、アジなど)、はえ縄漁(トラフグ)、その他漁業(ガザミ、タコなど) 他</p> <p>⑥ 愛知県しらす・いかなご船びき網連合会が取得している「マリン・エコラベル」の周知、普及拡大を図り、同漁業が水産資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいることをアピールし、イメージアップを図る。・・・船びき網漁業(しらす、いかなご)</p> <p>以上①から⑥の取組により平均魚価の2%向上を目指す。</p> <p>【漁獲量を増やす取組】</p> <p>愛知県及び南知多町と協力して、トラフグ、クルマエビ、ヒラメ等の栽培漁業を推進する。具体的には、種苗の放流匹数の増加、愛知県等が行う増殖場整備による増産、放流後の定着率を向上させるための放流最適地の調査、放流後の資源管理の強化等を新たに講じることにより、対象魚種漁獲量の2%向上を目指す。・・・はえ縄、小型底びき網、刺網他</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>引き続き船底清掃等により、燃油コストの7%削減を目指す。</p> <p>小型底びき網漁船等の機関換装に漁業近代化資金や沿岸漁業改善資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>古くなった製氷冷蔵施設をコイン式製氷冷蔵施設に換えることにより人件費や電気料を削減する。その結果、氷の値段や販売手数料が下がりコスト削減が見込まれる。(豊浜、師崎漁協)</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>6次産業化推進整備事業、南知多町産業連携推進事業、漁業近代化資金、沿岸漁業改善資金、産地水産業強化支援事業、愛知県栽培漁業関係事業、南知多町沿岸水産資源増殖推進事業</p>

5年目(平成30年度)

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【魚価向上の取組】</p> <p>① 名古屋から日帰り圏で知多半島の観光拠点である立地を活かし、豊浜石之浦地区の新規直販施設や既存の産直・直販施設への積極的な販路拡大を行う。・・・小型底びき網漁業(シャコ、アナゴ、サルエビなど) 他</p> <p>② 地元観光業者と連携し、地魚の積極的な使用を促す。具体的に</p>
---------------------	--

	<p>は、現在、必要数量が見込めないこと等により地魚の使用が敬遠されがちな大型宿泊施設に対して、ストック施設の整備等により地場流通システムを構築し、地産地消を促す。・・・小型底びき網漁業（シャコ、アナゴ、サルエビなど）、はえ縄漁（トラフグ）、潜水漁業（ウチムラサキ、平貝など）他</p> <p>③ 現在、「くろのり」だけを生産しているが、高価格で取引されるアオノリの混入した「混ぜのり」の生産を行う。（南知多では混ぜのりの生産を行ったことはないが、県内他地区では青混ぜのりは贈答用等として高値で取引されていることから、南知多でも新しく取り組むこととする。）・・・のり養殖業</p> <p>④ 6次産業化推進事業などから生まれる商品や地元食材を使った産物に対して認証する地域ブランド（南知多産ブランド認証「ミーナの恵み」）を取得し、産業振興協議会（町内産業連携組織）の協力を得て販売を促進する。・・・船びき網漁業（カタクチイワシの魚醤、カタクチイワシのオリーブオイル漬け他）</p> <p>⑤ 生産地識別タグの取付を普及させ、④とあわせて「南知多産」の知名度アップを図る。・・・一本釣り漁業（タイ、アジなど）、はえ縄漁（トラフグ）、その他漁業（ガザミ、タコなど）他</p> <p>⑥ 愛知県しらす・いかなご船びき網連合会が取得している「マリン・エコラベル」の周知、普及拡大を図り、同漁業が水産資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいることをアピールし、イメージアップを図る。・・・船びき網漁業（しらす、いかなご）</p> <p>以上①から⑥の取組により平均魚価の2%向上を目指す。</p> <p>【漁獲量を増やす取組】</p> <p>愛知県及び南知多町と協力して、トラフグ、クルマエビ、ヒラメ等の栽培漁業を推進する。具体的には、種苗の放流匹数の増加、愛知県等が行う増殖場整備による増産、放流後の定着率を向上させるための放流最適地の調査、放流後の資源管理の強化等を新たに講じることにより、対象魚種漁獲量の2%向上を目指す。・・・はえ縄、小型底びき網、刺網他</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>引き続き船底清掃等により、燃油コストの7%削減を目指す。</p> <p>小型底びき網漁船等の機関換装に漁業近代化資金や沿岸漁業改善資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>古くなった製氷冷蔵施設をコイン式製氷冷蔵施設に換えることに</p>

	より人件費や電気料を削減する。その結果、氷の値段や販売手数料が下がりコスト削減が見込まれる。（豊浜、師崎漁協）
活用する支援措置等	6次産業化推進整備事業、南知多町産業連携推進事業、漁業近代化資金、沿岸漁業改善資金、産地水産業強化支援事業、愛知県栽培漁業関係事業、南知多町沿岸水産資源増殖推進事業

(4) 関係機関との連携

南知多町は愛知県1位の漁業と観光の町でありながら、漁業においては水産物を大量消費地に出荷。また、観光業においても必要数量が見込めないことにより地魚の使用が敬遠され、漁業においては魚価の低迷、観光業においては地元の特徴が見出せず、両者とも低迷が続いている。南知多町は国が推し進める6次産業化推進整備事業を基に、平成25年度に町、漁業者、観光業者等による産業振興協議会を立上げ6次産業化やブランド力アップ、漁業と観光業の連携を図っている。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 %以上	基準年	平成	年度：漁業所得	千円
	目標年	平成	年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
○省燃油活動推進事業	船底状態改善等省燃油活動を行う漁業者グループに対する支援（燃油消費量削減によりコストダウンを図る。）
○省エネ機器等導入推進事業	省エネ効果の高い機器類の漁業者グループに対する導入支援（燃費効率のよい機器等を導入することによりコストダウンを図る。）
○産地水産業強化支援事業	コイン式製氷冷蔵施設の整備（施設を自動化することにより人件費や電気料の削減を図る）